

G4

評価手法の妥当性の検証

放送大学 情報コース

辰己 丈夫

G4の役割

- ・評価手法の妥当性の検証
 - ・開発した評価手法を基に問題セットを作成し、
 - ・大学・高校・予備校などの協力を仰いで、
 - ・模擬試験を実施することによって
 - ・その妥当性を検証する。
- ・他グループが作成した問題を実際に使えるかどうか検証する
 - ・G1 従来の一般的な問(大問／中間)
 - ・G2 IRTを想定した多肢選択問題
 - ・G3 CBTシステムの開発

妥当性の検証に必要な項目

- ・高校情報科の学習目標
 - ・学習指導要領(2022, 2032, 2042....)
 - ・中等教育全体での位置付けに沿った出題
- ・大学での出題可能性の現実的な追求
 - ・受験生募集の観点: アドミッション・ポリシー
 - ・入学後の教育体制: カリキュラム・ポリシー
 - ・制度の観点: 作題委員会の編成、作題作業
 - ・告知、試行、実施、評価の業務

高校情報科の学習目標

- ・学習指導要領(2022, 2032 ?, 2042 ?,)
 - ・現行学習指導要領「情報I」「情報II」
 - ・その趣旨にあった学習をしてきた受験生を選抜する
- ・中等教育全体での位置付けに沿った出題
 - ・様々な利害関係者との調整
 - ・実践的研究: 政策、教育学、学校教育学、情報教育研究者
 - ・行政等: 高等学校教員、管理職、教育委員会等、私立理事会
 - ・企業等: 採用(大卒を考えるなら、今回は ほぼ 不要)

妥当性の検証に必要な項目

- ・高校情報科の学習目標
 - ・学習指導要領(2022, 2032?, 2042?....)
 - ・中等教育全体での位置付けに沿った出題
- ・大学での出題可能性の現実的な追求
 - ・受験生募集の観点: アドミッション・ポリシー
 - ・入学後の教育体制: カリキュラム・ポリシー
 - ・制度の観点: 作題委員会の編成、作題作業
 - ・告知、試行、実施、評価の業務

大学での出題可能性の現実的な追求

・3ポリシー

- ・DP ディプロマ・ポリシー ← 卒業生の質保証
- ・CP カリキュラム・ポリシー ← 授業構成の全体設計
- ・AP アドミッション・ポリシー ← 入学者選抜 受験生募集

・大学設置・学校法人審議会(いわゆる文科省 設置審)

・認証評価制度(認証評価機関)等

・アクレディテーション、JABEE認定制度

大学での出題可能性の現実的な追求

- ・入学後の教育体制: カリキュラム・ポリシー
 - ・「情報入試」で評価・選抜された学生に対するカリキュラム
 - ・大学側が、この観点でのカリキュラム・ポリシーを設定することができると、円滑な高大接続に寄与できる
- ・受け取る大学の状況によって異なる
 - ・情報系専門学科
 - ・上記以外: 理、工、医、歯、薬、農、獣、スポーツ、経営、
経済、芸術、語学、文学、社会学、教職、法務、etc....

大学から高校生へのアプローチ

- ・高校生に対する公開講座制度

- ・例: 電気通信大学「[高大連携・基礎プログラミング](#)」

- ・1年次理数基礎科目である

- 「基礎プログラミングおよび演習」(必修科目) の内容をそのまま、e-learningにより提供

大学から高校生へのアプローチ

- ・早期履修制度(大学付属高校)

- ・例: 早稲田大学

- ・高等学院

- グローバルエデュケーションセンターの設置科目

- ・いまのところ「情報学」に絞ったものはない

- ・例: 信州大学

- ・長野県内高校生による科目等履修生(先取り履修生)

学内での制度設計と学外への宣伝

・学内調整

- ・入試での他教科の出題委員との調整
- ・作題の予算化、委員会の編成、作題作業
- ・採点、受験生評価、入学後の追跡

・宣伝

- ・告知、試行
- ・実施、実施評価

これまでの内容を踏まえて

- ・目標: 評価手法の妥当性の検証
 - ・開発した評価手法を基に問題セットを作成し、
 - よい問題セット
 - ・大学・高校・予備校などの協力を仰いで、
 - 組織を作れるかどうかの検討
 - ・模擬試験を実施することによって
 - 実証のための調査
 - ・その妥当性を検証する。
 - 試行の評価

模試の実施計画（詳細検討中）

- ・受験可能期間:

2024年2月・3月のうち数週間程度

- ・国内の高校からの参加を期待
- ・G1, G2, G3 の成果に基づく試験を実施
 - ・従来の一般的な問
 - ・多肢選択によるIRT
 - ・問題の漏洩不可？
 - ・CBT (IBT) による受験
 - ・基盤の整備が必要

- ・2025年の大学入学者選抜は現時点ではほぼ決まっている

- ・その後の未来の大学入学者選抜への検討材料とする